

# 関西北陸 ブロックセミナー

【発行元】全国大学生協連関西北陸ブロック

## 開催概要

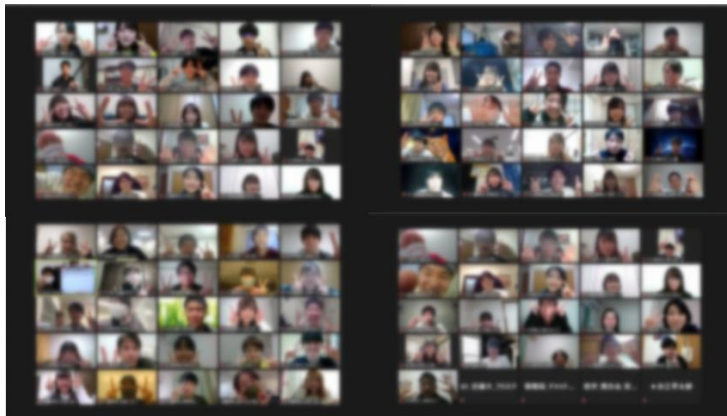
日程：2020年11月15日(日)

実施方法：オンライン

## 参加者（カッコ内は人数）

福井大(1)、富山大(3)、同志社(1)、立命館(7)  
 京府大(2)、龍谷大(7)、京教大(1)、京工繊(1)  
 京都橘(3)、滋彦根(2)、奈教大(4)、奈良大(1)  
 近畿大(1)、大経大(3)、阪電通(2)、大教大(1)  
 和歌山(7)、阪市大(1)、樟蔭女(5)  
 関学大(2)、神外大(2)、兵県大(2)

**計23会員59名**



ブロックセミナーのポスターを見たことはありませんか？企画内容について詳しく書いていました！次のセミナーのポスターも見てみてください！

## XX ブロックセミナー 開催趣旨

実践を意識し主体的に学び、主体的に考えるセミナー

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの活動ができなくなりました。また、新入学生委員の獲得についても難しい状況にありました。ブロックセミナーは「よりよい生活の実現」に向けて取り組んでいる活動を総合的かつ包括的に学ぶことができるセミナーとして開催しました！

## 01 2020年度を振り返る時間

### 大学生協の現状を把握しました！

まずはじめに、大学生協がどんな組織でどんなことを大切にしているかを確認しました！また、大学生協がの2020年度の歩みをブロック方針をもとに客観的に振り返りをしました！参加者のみんながこれからの分野別の時間でより実践的に考えることができるような時間になりました！

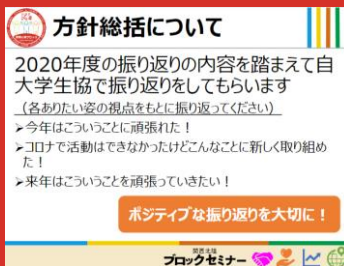


大学生協がどんな組織か確認することで、自大学で何ができるかを考えることができました！

## 02 自大学の時間

### 自分たちの大学を振り返りました！

前の時間の提起を元に、自分たちの大学は2020年、なにをがんばることが出来たのかを振り返りました！コロナ禍で例年のような取り組みを行うことは難しかったかも知れませんが、だからこそ新しくできたことや、来年どんなことを頑張っていきたいかを考え、ポジティブな振り返りをすることが出来ました！



自分たちの取り組みを振り返り、どのありたい姿の企画に参加するかを考えました！

# 03 組合員とともに大学生協をつくっていきこう



私たちにできる“ともにつくる”

## 1. 大学生協の仕組みのおさらい

→はじめに大学生協の仕組みをおさらいして、「運営参加ができる」ということが大学生協の特徴であり、魅力でもあるということを確認しました。

## 2. 運営参加ってなんだろう？

→「運営参加」とは「大学生協の取り組みを組合員みんなでともにつくっていくこと」です。また、ともにつくっていく組合員を増やすためには魅力を実感してもらうことが大事になってきます。そこでGWを通して、より多くの組合員に魅力を実感してもらうために学生委員がどのように関わっていけるか考えました。

## 3. 日常的な運営参加の在り方

→運営参加の代表例として「声を届けること」が挙げられます。しかし、運営参加で大切なことはただ声を届けるだけではなく、大学生協について話し合うことです。また、そもそも声を届けられることを組合員に知らせなければなりません。声を届ける仕組みも必要です。この時間ではGWを通して、「知らせる」「仕組みを作る」「考え話し合う機会を設ける」の3つの視点で学生委員会ができることを考えました。

と、いうことは、...

組合員が大学生協の運営に参加する = 大学生協の取り組みを組合員みんなでともにつくっていく

組合員のより良い生活を組合員みんなで「ともにつくる」ことが大切！

ブロックセミナー

コロナ禍で大変な今だからこそ、「ともにつくること」を特に意識していきたいですね！

ともにつくる組合員を増やす

STEP1  
先ほどのJamboardに加えよう  
「声を届けられることを知らせる」  
「声を届けられる仕組みを作る」  
「考え話し合う機会を設ける」

この3点について学生委員ができることは？

ブロックセミナー

【出たアイデア】  
「架空POPコンテスト」「ひとことカードの周知」「ひとことカードの掲示板をつくる」など

# 04 難しくないよ！ たすけあい！



無意識の中の、たすけあいを改めてみんなで再確認しました！

新型コロナウイルス感染症の影響により様々な日常的な取り組みがオンラインという形で実践されています。そこにはたすけあいの想いが込められた取り組みが多く、組合員の目線でしっかりとニーズをとらえた取り組みが増加しています。ですがこれらの取り組みのたすけあい、の部分に対して自覚はまだ少なく、「無意識のたすけあい」が飛び交っています。今まで以上にたすけあいが求められている今、皆さんと共に“無意識のたすけあい”を再確認し、さらに広めていくためにここで学びあいを設けました。

この場では大学生協、大学生協共済の様々な取り組みのなかの「たすけあい」の想いを改めて意識し実感することで、さらにたすけあいの輪を広げていく一人になることを目標として学びを進めました。

大学生協について、大学生協共済について、共済活動の分科会の時間を設け、学びを進めましたが多くの参加者がたすけあいを実感できたかと思えます。

今後は多くの大学生協で健康安全活動、新学期活動に向け動き出していきますが、大学生協の取り組みの基盤はいつでも「たすけあい」です。その想いを実現するために様々な取り組みがありますが、より組合員同士がたすけあえるような環境を整えたり、よりたすけあいが広がっていくような活動を一緒に考えていきましょう！✦

たすけあいを実感する

- ・大学生協の「たすけあいについて」
- ・まとめ
- ・まとめ
- ・協同組合も大学生協も根本が「たすけあい」
- ・「たすけあい」は協同組合の根本である！ 大学生協共済はその「たすけあい」の一つのカチ

ブロックセミナー

大学生協の根本には「たすけあい」がちりばめられています。共済はそのたすけあいの一つのカチ、です！

2020年度の取り組みを知る

- この分科会の狙い
  - ✓たすけあいが形になった取り組みを知る
  - ✓なぜその取り組みがよいのか考える
- 分科会を通して
  - 参加を知る
  - 分科会参加の意義を明確に
  - 共に学びあおう

関西北陸ブロックで実践された「たすけあい」を共有！ 巨大学での実践のヒントに！

ブロックセミナー

関西北陸ブロックで実践されている「たすけあい」の取り組みを分科会形式で学びました！

# 05 新学期は みんなの学びと成長



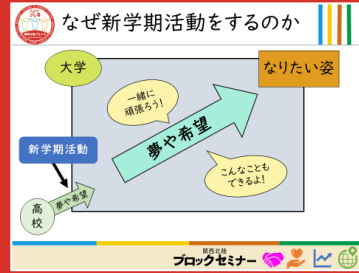
マイナスをゼロにするのではなく、  
マイナスをプラスに変える

今年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンライン授業と対面授業の併用により大学内での「学び」ができる場が急激に減りました。大学生活の中で組合員一人ひとりになりたい姿を見つけ、夢や希望そして期待をもって大学生活を送ること、組合員が自発的に学ぶことができていないのが現状としてあります。また、入試制度の変化により様々な想いを持った新入生が入学します。その中で、新入生にとって大学生活への入り口となっている新学期活動を大学生協がなぜ行うのかを再確認しました。また、大学に入学する前の自分と今の自分を見つめ直すことで、生活をする中で様々なことを学び、成長していることをワークを通して実感しました。

また、この時間での学びを整理し、21年度新学期はもちろん、これからの新学期活動に向けて今何ができるのかを交流しました。1回生から4回生の参加があったため、今年入学した1回生のリアルな声、執行代として活動している2・3回生の声、これまでたくさん経験を積んでいる4回生の声、いろいろな視点からの交流ができたことでお互いの学びにもなったのではないのでしょうか？

新入生や保護者に向けて行っている新学期活動ですが、自分自身の成長も感じながら、そして学生・職員それぞれの強みを生かしながら取り組んでいきましょう！！★

来年度のブロックでの連帯企画でたくさん交流できることを楽しみにしています🍷



新入生にとって大学生活の入り口となる新学期活動について、参加者のみんな考えて考えることができました◎

年間を通じた新学期活動を考えた上で、自分自身の成長を感じながら新学期活動を行いましょう☆

# 06 あなたも今日から ムーブメンター！



社会的課題を継続的に・包括的に

この時間のゴールは、社会に生きる一員として大学生協が社会的課題について取り組む意味を考えること、社会的課題を包括的に捉えるようになること、そして社会的課題の取り組みを継続的に取り組む意識を持つことでした。

提起①では、自分たちが社会に生きる一員であることを実感し、その上で社会にどんな課題があるのかを知る時間になりました。この時間では自分たちの生活が社会に影響を与えていることを実感することができました。

提起②では、なぜ大学生協が社会的課題に取り組むのかについて話しました。まずは大学生協の仕組みから説明をし、目指したい平和についてや持続可能性とSDGsについて、そして大学生協の4つの使命から社会的課題に取り組む意義についての説明をしました。継続的に取り組む大切さを伝えることができました。

提起③では、社会的課題はつながっていることを実感してもらった時間とし、分野ごとで分かれているのではなく、それぞれが繋がっていることを説明しました。また、その上で社会的課題は包括的に取り組む大切さも伝えることができました。

提起④では、提起①～③の振り返りをして、組合員の現状と理想を見つめなおして、今後どのように取り組みを行っていくべきかを考える時間になりました。振り返りの中では、包括的だけではなく、継続的に取り組んでいくことの大切さも再度伝えることができました。



最初は何からしていか分からない状態でしたが、最後にはこういうことしたい！という目標を立てる事ができました。



社会的課題は視点や考え方の切り替えをすることで見えてくることに気づくことができました！

# 07 アイスブレイキング

## PMEG

PMEG：Photoにまつわるエピソードを当てるゲーム

ここではみんなが自己紹介と共に自身のエピソードがある写真を紹介してもらい、そのエピソードをみんなで当て合いました。なかなか当てるのは難しかったこともありましたが、盛り上がりました！

**PMEGとは？**

P→Photo ni  
M→Matsuwaru  
E→Episode wo ateru  
G→Game  
= **写真にまつわるエピソードを当てるゲーム**の略だよ！



学生医事務局も自己紹介で写真のエピソードトークをし、伏線を貼っていました！

# 08 資料共有・交流の時間

## みんなで包括的な学びを！

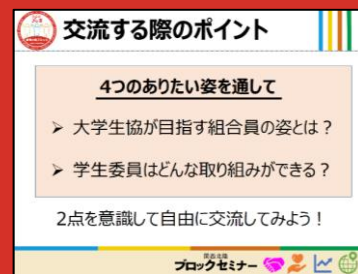
参加者一人一人が各ありたい姿の企画に参加した後、班に分かれお互いに学んだこと考えたことを共有し交流しました。班はお互い異なるありたい姿企画に参加した参加者で構成されており、共有・交流を通して、4つのありたい姿全ての内容を学ぶことができました。交流では、学んだことをもとにどのような取り組みができるかをみんなで話し合いました！

**交流する際のポイント**

**4つのありたい姿を通して**

- 大学生協が目指す組合員の姿とは？
- 学生委員はどんな取り組みができる？

2点を意識して自由に交流してみよう！



共有した後、ポイントに沿って交流を行うことでお互いの学びを深めることができました！

# 09 実行委員長より

## いろんな視点で取り組みを考えましょう！

大学生協はさまざまな取り組みを行っていますが、それは組合員のよりよい生活と平和の実現を目指して取り組まれています！一つの分野だけを取り組めばいいというわけではなく、さまざまな視点から取り組むことが大切です！ぜひセミナーの学びを自大学で共有し行動に起こしてほしいと思います！

**セミナーは帰って活動するまで！**

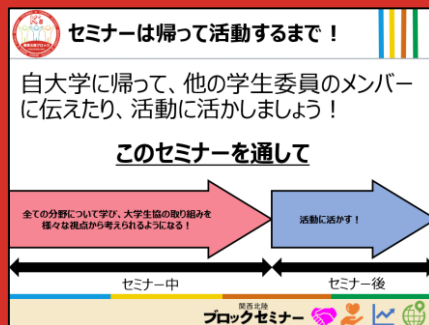
自大学に帰って、他の学生委員のメンバーに伝えたり、活動に活かしましょう！

**このセミナーを通して**

全ての分野について学び、大学生協の取り組みを様々な視点から考えられるようになる！

活動に活かす！

セミナー中      セミナー後



# +A 参加者のみなさんの声

ブロックセミナーにご参加できなかった方へ  
Googleドライブに資料があります。ご活用ください！  
[<Googleドライブはこちら>](#)



エリア内の大学生協はもちろん、普段関わることのない色々な大学のGIと交流できてとてもいい経験になったし、楽しかった。これからの大学生活やGIでの活動がとても楽しみなった。今回学んだことを一つでも多く活かして、自大学生協の組合員の生活がより良いものになるように頑張っていきたい



全体を通して楽しかったです。他大学さんで行った取り組みや活動も知れて、たくさん知識が増えました。しっかりと自大学に持ち帰って活かしたいと思います。



組合員の理想の姿をもとに、「じゃあうちの大学どないすんねん」ということを考える材料として、今日の学びは持ち帰りたい。新入学生委員にまだほとんど何も伝えられていないので、これを活用して彼らにワクワクしてもらいたい



今回のセミナーでは一つしか参加できませんでしたが、他のセミナーで学んだ人との交流が学びになりました。今後もこのセミナーを続けてほしいです。これからは執行代になり、人数が少ない中での活動になりますが、自分ができることに取り組み続けたいと思っています。



ブロックセミナーにご参加いただきありがとうございます！ブロックセミナーでみつけたこれから活動していきたいことを実現できるように一緒に頑張りましょう！  
文責：関西北陸ブロック学生事務局